

目次



2 ステークホルダーの皆さまへ

ステークホルダーの皆さまへのごあいさつと、サステナブルな社会の実現を目指すビジョンをお伝えします。

4 住友化学のDNA

6 コア・コンピタンス

12 住友化学の目指す姿

編集方針

住友化学は、昨年度より従来の「アニュアルレポート」と「CSRレポート」の位置づけを整理し、「住友化学レポート」へと再編しています。株主・投資家をはじめとする幅広いステークホルダーの皆さまに向け、当社が持続的に成長していく姿をわかりやすくお伝えすることを目指し、事業の強みや戦略、業績報告に加え、コーポレート・ガバナンス体制や環境・社会への取り組みなど、非財務情報と財務情報を総合的にまとめています。

「住友化学レポート2018」では、この一冊を住友化学の過去・現在・未来を紹介する「住友化学ミュージアム」に見立て、皆さまに当社の価値創造ストーリーを見て、読んで、感じていただきたいという思いで作成しました。投資家をお招きしたESG対談や社外取締役とのガバナンス対談、事業部門別の価値創造モデルなど、新しいコンテンツも掲載しています。この住友化学レポートが、ステークホルダーの皆さまとの懸け橋となり、グループ一丸となって新たな価値を創造していく姿をお伝えできれば幸いです。



経済産業省が策定した「価値協創ガイダンス」は、企業と投資家を繋ぐ「共通言語」であり、企業が投資家に伝えるべき情報を体系的・統合的に整理し、情報開示や投資家との対話の質を高めるための手引きです。本レポートでは、主に「事業を通じた価値創造」(P40～)の部門別価値創造モデルにて本ガイダンスを参考にしています。

本資料での財務数値について

住友化学グループは2018年3月期より、従来の日本基準に替えてIFRSを適用しており、前連結会計年度の数値をIFRSに組み替えて比較分析を行っています。しかし、IFRSでの2017年3月期の期首連結財政状態計算書はセグメント別に作成していないため、2017年3月期における、セグメント別の資産収益率と資産回転率は算出していません。

見通しに関する注意事項

本住友化学レポートに記載されている当社の現在の計画、戦略、業績予想などの、既存の事実ではない内容は、将来に関する見通しであり、リスクや不確定要因を含んでいます。実績がこれらの内容と乖離する要因となりうるものとして、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場における当社の製品に対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、厳しい競争市場において当社が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。ただし、要因はこれらに限定されるものだけではありません。



14 社長インタビュー

当社グループを取り巻く事業環境、中期経営計画の進捗状況、ESGへの取り組みなどをご説明します。

住友化学ハイライト

24 住友化学の1年

26 財務ハイライト

28 非財務ハイライト

特集



30 スタートアップ企業との連携

次世代医薬品 「核酸医薬」の開発



36 DIALOGUE: ESG投資家を迎えて ESG経営による価値創造

40 事業を通じた価値創造

42 事業部門の成り立ち

44 住友化学の今

46 石油化学

50 エネルギー・機能材料

54 情報電子化学

58 健康・農業関連事業

62 医薬品

66 価値創造の基盤

68 人材戦略

70 レスポンシブル・ケア

72 株主・投資家との対話

73 研究開発・知的財産

コーポレート・ガバナンス

74 マネジメント体制

76 ガバナンス対談

80 役員一覧

82 コーポレート・ガバナンス

90 コンプライアンス

93 コーポレートデータ

94 財務レビュー

100 連結財務諸表

106 会社・投資家情報

住友化学の3つのレポート

住友化学レポート



当社の価値創造ストーリーをわかりやすく伝えることを目指しています。

http://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/annual_report/

Investors' Handbook



当社の事業・製品を詳細に解説しています。

http://www.sumitomo-chem.co.jp/ir/library/investors_handbook/

サステナビリティ データブック



環境・社会の側面から当社の情報を紹介しています。

<http://www.sumitomo-chem.co.jp/csr/report/>